授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
基礎看護技術演習Ⅱ	2年次	通年	1	30	有

科目責任者	小形紀子・四ノ宮真寿美・野村美穂
授業概要	「診療に伴う技術」の講義で学んだ知識を活用し、対象に合わせた処置・治療を考え、安全・安楽に実施するための手順・観察項目を主体的に学ぶ。
目標	1. 指導のもと、シミュレーターを用いて膀胱留置カテーテルの挿入・管理ができる。 2. 酸素療法を受けている患者の観察項目・留意点が理解できる。 3. ドレーンの種類と管理の方法が理解できる。 4. 指導のもと、適切な方法で創処置が実施できる。 5. 指導のもと、シミュレーターを用いて口腔・鼻腔からの吸引が適切にできる。 6. 指導のもと、適切な方法でシミュレーターを用いて静脈血採血ができる。 7. 指導のもと、適切な方法で輸液セットの準備をしシミュレーターに穿刺ができる。 8. 指導のもと、指示された滴下数で調節し、患者の状態が観察できる。 9. 指導のもと、シミュレーターを用いて適切な方法で筋肉内注射の穿刺ができる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1 2	膀胱留置カテーテル	四ノ宮 他	演習
3 4	酸素療法	四ノ宮 他	演習
5	ドレーンの種類と管理	小形	講義
6 7	ドレーン類の挿入部の処置 創傷処置（創洗浄・創保護）	小形 他	演習
8 9	口腔・鼻腔内吸引	四ノ宮 他	演習
10 11	静脈血採血	小形 他	演習
12 13	点滴静脈内注射の実施と管理	野村 他	演習
14 15	筋肉内注射	野村 他	演習

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野１　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　医学書院 看護がみえる　vol.1　基礎看護技術　MEDIC　MEDIA 看護がみえる　vol.2　臨床看護技術　MEDIC　MEDIA
参考書	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　メディカ出版 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第2版　医学書院
評価方法	提出物(30%）、小テスト（50%）、技術テスト（20%）